

## 全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

## 学 力 面

- 国語科では、「読むこと」の正答率が県平均よりも高い傾向にある。
- 算数科では、「数量や図形についての技能」の正答率が高く、計算や図形の処理が正確にできるようになってきている。
- 1時間の授業にめあてから振り返りまでを確実に位置づけることで、主体的に学習に取り組む姿勢や、学習の成果や自分や友達の頑張りを見つめることができている。
- ▲国語科は県・全国と比較して正答率が低い。当該学年で学習する漢字などの基礎的知識の定着とともに、目的や意図に応じて自分の考えを書いたり話したりする表現力の向上を図らなければならない。
- ▲算数科は学年が上がるにつれて差が開いている。特に筋道を立てて考えることや、考えたことを図や式や言葉を使って伝える力を身に付けていかなければならない。
- ▲記述式の問題に関しては、記述内容に不十分な点があったり、無回答であったりする。

## 学 習 状 況 面

- 家庭学習や生活チェック表など、家庭との連携を図り、生活習慣の改善を図る取組の成果が、規則正しい生活に結びついている。
- 学級活動の充実を図り、友達のかかわりを深める取組の成果として、友達の話を聞いたり、学級で協力してやり遂げた喜びを感じたりしている児童が多い。
- 約束を守ったり、いじめを否定したりする正しい道徳心をもっている。
- ▲自分の考えや意見を友達の前で発表したり、文章に書いたりすることが難しいと感じている。
- ▲土日の学習時間が少なく、自分から課題を見つけて取り組むことが苦手である。
- ▲難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しようとするたくましさに欠ける傾向がある。

## 改 善 策

## 学 校 で の 取 組

- ①算数科における、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた、どの子も「わかる・できる」授業づくり
- ・見通す段階での、学習内容の「焦点化」と、話し合う場面での教師の発問や役割による学習内容の「共有化」
  - ・基礎基本の徹底と定着(授業時間数の確保、算数科3～6年生の少人数指導、朝学習、放課後学習、パワーアップタイム、家庭学習)
- ②学習活動における書くことの重視
- ・各教科における意見や考えを書く指導 ・条件付き作文指導 ・日記、作文指導
- ③自信や夢を育む体験活動の充実
- ・特別活動の時間数増加(学級活動を10時間増)と効果的な内容の精選
  - ・学級集団づくり(グループエンカウンター、帰りの会での友達の良いところみつけ、ほめ言葉のシャワー)
  - ・自己肯定感や自己有用感の育成(兄弟学年によるピア・サポート活動、縦割り班遊び(なかよしタイム))
- ④よい学習習慣と生活習慣(メディアコントロール力を含む)の継続
- ・学習習慣:「家庭学習の手引き(保護者用・児童用)」・「家庭学習がんばりカード」
  - ・生活習慣:(メディアコントロール力を含む)「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」

## 中 学 校 区 で の 取 組

- 中学校区で連携をとりながら、「将来の夢に向かって、主体的・協働的に取り組むことのできる子ども」の育成をめざす。
- ・「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」を活用し、メディアコントロールを含めた規則正しい生活習慣の確立を図る。
  - ・中学校の試験期間に合わせて家庭学習がんばり週間を設定し、がんばりカードを活用して家庭学習の充実を図る。
  - ・中学校区内の研究授業に参加し、授業改善を図る。
  - ・小一連携、小一中連携の授業を実施することにより、より円滑に中学校への進学ができるようにする。
  - ・あいさつ運動、無言清掃の取組を推進する。

## 家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「家庭学習がんばりカード」、「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」の間中は、毎日カードを点検して、振り返りや励ましをお願いします。この取り組みには次のようなねらいがあります。
- 「①学習習慣を身に付ける ②基礎・基本の定着と、主体的な学習態度を育てる ③望ましい生活習慣を身に付ける  
健康な体や確かな学力を身に付け、将来の夢に向かって主体的・協働的に取り組むことのできるきびっ子と一緒に育てていきましょう。」
- きびっ子応援団(金光吉備小学校 学校支援ボランティア)を募集しています。専門的な知識や技能をお持ちの方、子どもが大好きという保護者や地域の方々に、教科や総合等の授業、放課後学習の補助等でご協力をいただければと思います。個に応じた学習支援や児童の安全確保の一層の充実を目指すことで、教育効果をさらに高めたいと考えています。